

トピックス
TOPICS 1

高齢者叙勲
豊島陽太郎氏(荒町)

豊島陽太郎氏(荒町)が地方自治功勞により「瑞宝双光章」を受章され、7月22日に豊島氏宅で叙勲伝達式が行われました。

豊島氏は昭和27年に常盤村役場職員として入庁し、34年にわたり尾花沢市職員として務められた後、昭和61年9月から平成5年3月までの6年6カ月の間、尾花沢市助役として市政の発展に多大な貢献をされました。

これまでのご功績に敬意を表し、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

※瑞宝章：国家または公共に対し功勞があり、特に公務等に永年にわたり従事し、功績をあげた方に授与される章です。



市長より勲章と勲記を手渡された豊島氏(写真右)

トピックス
TOPICS 2

山形県建設技術協会
会長賞(山建賞)
三共開発(株)が受賞

このたび、山形県建設技術協会が主催する「山建賞」に、市町村工事の道路部門で、三共開発(株)が施工した平成30年災第835号市道Ⅳ-461号線寺山橋梁災害復旧工事が選ばれました。これは、平成30年8月の大雨の際に被災した若谷沢地区の寺山橋を、地区民が安心して生活できるよう、橋と橋台とを一体化して川が増水しても橋が被災しないような特殊工法を用いて、災害復旧工事を行ったことが認められたものです。

協会では、建設技術の向上に寄与するため、県内の建設業者が受注した公共工事(または業務)を対象に、優秀な建設事業等を行った企業を表彰しています。



受賞の報告に市役所を訪れた三共開発株式会社代表取締役(写真左)

トピックス
TOPICS 3

新たに1企業を追加
**消防団協力事業所
表示証交付式**

8月20日、市役所で消防団協力事業所表示証交付式が行われ、今回新たに(株)菅野測量設計に表示証が交付されました。

この表示証は、会社勤務中の団員が万一の災害時に出勤できるように協力する事業所に交付するもので、本市では平成20年からこの制度の運用を開始しており、この制度で認定された事業所はこれまでに20力所になりました。

(株)菅野測量設計本間政人代表取締役は「会社としても消防団に協力していきますので、今後ともよろしく願います。」とあいさつされました。



消防団協力事業所表示証を交付された(株)菅野測量設計本間代表取締役(写真中央)

トピックス
TOPICS 4
第1回
「総合企画審議会」

令和3年度から10年間のまちづくりの指針となる「第7次総合振興計画」の策定に向けて、学識経験者や団体、関係機関の代表者で構成される「総合企画審議会」を設置し、8月19日に第1回の審議会を開催しました。

第1回審議会では、会に先立ち委員22人へ市長から委嘱状が交付され、会長に笹原光政氏(尾花沢市連合区長兼会長)、副会長に川村一義氏(山形大学准教授)が選出されました。

市長からは「次期計画は、誰もが住んで良かったと思える尾花沢を目指して、市民と行政が連携して未来に誇れる元気なまちづくりを進めていくためのもの」と話しました。

その後の協議では、先に市民を対象に行われた「尾花沢市まちづくりアンケート」の調査結果(市報おばなざわ7月15日号掲載)と、第6次総合振興計画の検証結果、さらに、「市民ワークショップ」の開催状況が報告され、次期計画策定にあたっての今後の方針と基本構想の枠組み等について話し合われました。委員からは、「子どもの保育や教育環境が充実したまちづくりが重要ではないか」や、「人口減少対策では移住者の視点が必要ではないか」などの意見



▲第1回審議会の様子。22人の委員が今後10年間のまちづくりの基本構想と計画について協議を行い、原案をまとめます。



▲「第7次総合振興計画」策定について審議会の意見を求めるため、市長から笹原会長へ「諮問書」が手渡されました。

が交わされました。

審議会では、今後4回にわたり協議を重ねて計画(案)をまとめ、来年2月に開催する第5回審議会でも市長へ答申する予定です。

9月に入ってもなお残暑厳しい日が続いており、さすがに秋が過ぎか、でしょうか。

さて、小学校、中学校では、コロナ禍の中工夫をこらして運動会が開催されました。いろんな意味で思い出になったものと思います。

今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おばなざわ花笠まつりが中止となりましたが、8月27日の諏訪神社例祭が動画投稿サイトでライブ配信され、普段は見ることができない神事の様子を多くの方に見ていただきました。来年は例年通りに祭りが開催され、勇壮華麗な笠回しが街中を彩ることを願っております。

さて、第7次尾花沢市総合振興計画の策定にあたり、各地区・集落のご協力を得て、先月から「未来の尾花沢を語る会」が始まりました。3密対策に配慮して開催しておりますが、参加して下さった市民の皆様からは様々なご意見を頂戴しておりますので、次期計画に反映してまいります。

また、今月6日には、大学生から高齢者そして様々な職種の方々による「尾花沢市の未来を考えるワークショップ」が開催され、昨年からの6回の開催を通してまとめられた本市の未来に向けた取り組み案を、産業・健康・福祉・都市基盤・子育て・教育・協働・行財政の各分野ごとに報告していただきました。長期間にわたりワークショップに参加して下さった皆様に感謝申し上げます。また、頂戴しました提案は、次期計画や今後の施策に活かしてまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症の緊急対策第6弾として、第24弾元氣おばな商品券の発行など、各種事業を計画しております。市全体が元氣を取り戻せるような事業を展開してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

尾花沢市長 菅根花雄

市長コラム